

第067回国会 本会議 第1号
昭和四十六年十月十六日(土曜日)
午前十時八分開議

- 議事日程 第一号
昭和四十六年十月十六日
午前十時開議
第一 議席の指定
第二 会期の件

- 本日の会議に付した案件
一、日程第一
一、新議員の紹介
一、故議員村上孝太郎君に対し弔詞贈呈の件
一、故議員村上孝太郎君に対する追悼の辞
一、日程第二
一、国家公務員等の任命に関する件
一、請暇の件

○議長(河野謙三君) これより会議を開きます。
日程第一 議席の指定
議長は、本院規則第十四条により、諸君の議席をただいまの仮議席のとおりに指定いたします。

○議長(河野謙三君) この際、新たに議席に着かれた議員を御紹介いたします。
議席第四番、全国選出議員、野末和彦君。
〔野末和彦君起立、拍手〕

○議長(河野謙三君) 議員村上孝太郎君は、去る九月八日逝去せられました。まことに痛惜哀悼の至りにたえません。
同君に対しましては、すでに弔詞を贈呈いたしました。
ここにその弔詞を朗読いたします。
〔総員起立〕
参議院は議員従三位勲二等村上孝太郎君の長逝に対しましてつつしんで哀悼の意を表しうやうやく弔詞をささげます

○議長(河野謙三君) 八木一郎君から発言を求められております。この際、発言を許します。八木一郎君。
〔八木一郎君登壇、拍手〕

○八木一郎君 ただいま議長から御報告がありましており、議員村上孝太郎君は、去る九月八日、肝硬変のため逝去されました。まことに痛恨のきわみでございます。

私は各位のお許しを得て、議員一同を代表し、従三位勲二等故村上孝太郎君の御生前をしのびつつ哀悼のことばを申し上げるものであります。
村上君は、大正五年愛媛県に生まれ、第一高等学校、東京帝国大学法学部を経て、卒業後、直ちに大蔵省に入られました。自来、大蔵省の各部局に勤務し、その間、終戦連絡中央事務局、公正取引委員会に出向されたこともありましたが、主計局主計官、主計局総務課長、日本専売公社監理官、主計局次長、経済企画庁官房長、大蔵省官房長、主計局長などの要職を歴任し、大蔵省事務当局の最高責任者たる事務次官を最後に退官されるまで財政・金融の各分野にわたって幅広く活躍され、戦中、戦後の大蔵省の行政面に輝かしい業績を残されたのであります。
また、退官後は、社会開発調査団長として欧米諸国を回られ、七〇年代の重要課題である公害問題、環境整備の問題につき精力的に調査、啓蒙されたことなど、われらの記憶に新しいところであります。

思えば村上君は、すぐれた資質に加え、不屈の意思と確固たる信念と卓抜な実行力の持ち主でありまして、いかなるポストにあっても精力的に難問に立ち向かい、自己の信ずるところに従って職責を遂行され、村上君の声望は大蔵省のみならず広く各界に及び、将来ある有為の人としてその活躍を囁目されていたのであります。

かかる各界の待望のもとに、村上君は、その卓越した識見と豊富な経験を立法府において発揮しようと決意され、過ぐる参議院選挙には全国区から立候補し、みごと上位をもって当選されました。

村上君は、参議院議員として、まず外務委員に選任され、われわれは同君に対し外交、国際経済などの問題についてはもとより、広く国政全般にわたる寄与、御活躍を期待申し上げておりましたのに、不幸にして病におかされ、五十五歳の若さをもって、突如御逝去になり、ついにその志を伸ぶる機会を得られなかったことは、御遺族にとつて、君を知る者にとつてこの上もない痛恨事でございます。

思えば、今日わが国は、日中問題、円切り上げ問題をはじめ、幾多の重要問題に直面し、特にこの国会はいわゆる沖繩国会として、村上君のごとき人材の御活躍を待望すること切なるものがございました。君の御逝去は、参議院にとつても一大損失と申さねばなりません。

ここに村上孝太郎君の御逝去を心からいたみ、つつしんで御冥福をお祈り申し上げ、私の追悼のことばといたします。(拍手)